

教科名 (科目名)	理科 物理基礎	履修学年	1 年	学科	普通・フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2 単位	

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

・日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

- ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- ・物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な性質や法則についての知識をもっている。</li> <li>・自然の事物・現象に対する概念・法則・原理を理解している。</li> <li>・科学的に探究するために必要な観察・実験に関する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの現象について、科学的に考察し、説明することができる。</li> <li>・設定した課題について、論理的に研究方法を思考し、的確に実行することができる。</li> <li>・研究結果を科学的・論理的にレポートとしてまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの現象について関心を持ち、意欲的に理解しようとする。</li> <li>・日常生活や社会との関わりの中で科学の有用性を実感したことについて表現することができる。</li> <li>・物理法則に関心を抱き、論理的でわかりやすく、正確なレポートを作成しようとする。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元テスト</li> <li>○定期考査</li> <li>○課題 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元テスト</li> <li>○定期考査</li> <li>○レポート 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元テスト</li> <li>○発表</li> <li>○レポート 等</li> </ul>

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】 高等学校 新物理基礎(第一学習社)  
【副教材】 アプローチドリル(第一学習社)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書内容を副教材を利用して学んでいきます。  
○教科書だけでは補えないような発展的な内容については、参考書等から適宜取り上げつつ、幅広い知識を身につけ、解決する力を養成します。  
○協同学習を通して、学んでいきます。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	第Ⅰ章 運動とエネルギー	○単元テスト ○定期考査 ○課題 等	○単元テスト ○定期考査 ○レポート 等	○単元テスト ○発表 ○レポート 等
	5月	・物体の運動 ・運動の法則 ◎ 単元テスト			
	6月	・仕事と力学的エネルギー ◎ 1学期期末考査			
	7月	第Ⅱ章 熱			
2 学 期	8月	・熱とエネルギー	○単元テスト ○定期考査 ○課題 等	○単元テスト ○定期考査 ○レポート 等	○単元テスト ○発表 ○レポート 等
	9月	第Ⅲ章 波動			
	10月	・波の性質 ◎2学期中間考査			
	11月	・音波 ◎2学期期末考査			
	12月	第Ⅳ章 電気			
3 学 期	1月	・電荷と電流	○単元テスト ○定期考査 ○課題 等	○単元テスト ○定期考査 ○レポート 等	○単元テスト ○発表 ○レポート 等
	2月	・電流と磁場 ◎ 学年末考査			
	3月	・エネルギーとその利用			